

女性活躍推進フォーラム 人材育成委

「自ら風土を変える思いを」 21人参加、活発な勉強スタート

人材育成委員会の今年度第1回「女性活躍推進フォーラム」が9月11日、東京・日本橋三洋グループ

ビル8階の会議室で開かれた。ホール企業を中心に、女性正規社員21人（1社1人）が参加した。

冒頭、前田竜哉委員長は「8月末に女性活躍推進法が成立しました。女性が企業の中でどうやったら活躍できるか、それを本気でやれと、国が義務として制定したわけです。そんな時代の後押しを受けてこのフォーラムが開かれました

いい風が吹いていない。だから女性のパワーが必要とされていることを強く皆様にもご認識いただきたい。そして皆様はこの業界を変えていこうという考えを、この集まりで生み出していきたい。そして実際に企画を会社を持って帰っていただきたい。皆様自身が自社の風土を変えていく、こういう強い思いをもって参加してください。また、来ていただいたからには、皆様の業務に役立つような企画も用意しました。自分を高め、ネットワークをつくり、自社を変えていく、これがこのフォーラムの趣旨です」とあいさつした。

平成27年度 第1回 女性活躍推進フォーラム 平成27年9月11日（金）

テーマ	グループ	企業名	名前
キャリアアップニング	A	(株)善都	森月 綾美
		(株)オータ	鈴木 麻衣
		(株)マルハン	◎入野谷華枝
		愛和食品(株)	田島 歩実
	B	(株)日進	宮城 彩奈
		(株)ヒカリスシステム	川上 静佳
		東和産業(株)	◎大西 沙樹
		ジャパンネットワークシステム(株)	湊 奈津希
	C	(株)プロテラス	稲葉 圭
		ピーアークホールディングス(株)	杉本志保里
ワークライフバランス	D	(株)ユーコー	永吉 愛理
		(株)平成観光	高橋 佳澄
		日拓ホーム(株)	◎藤森 由紀
		(株)ABC	◎井上 美鈴
	E	グローリー(株)	佐々木文子
		NEXUS(株)	村上 友美
		(株)ウエスタンコーポレーション	松本 直子
		(株)ジャパンニューアルファ	小椋 理恵
		(株)ニラク	◎森谷 文子
		(株)フローバ	沖 優子

◎＝リーダー

さらに、「この女性活躍推進フォーラムは、2020年まで

フォーラムを終えて、交流会でくつろぐ



グループディスカッションでテーマを詰める



続けるという強い思いを持って企画運営をしています。2020年までに業界の女性活躍がどこまで進んでいるか、これを本気で団体として後押ししていきます」と付け加えた。

5グループが 2つのテーマ

今年度のフォーラムはこのあと、11月13日、来年2月10日に開かれる。参加者（次回から22人）は全3



お互いを知る手始めに名刺交換



真剣に話を聞く参加者たち



サービス接遇検定資格などで講演する大熊氏

回を通して参加し、5グループに分かれて「キャリアプランニング」「ワークライフバランス」の2つのテーマで企画を練り上げる。2月10日に成果を発表、さらにその企画を持ち帰って自社の風土を変えていくという「風土の後押し」が1つ目の目標となっている。企画の練り上げには、人材育成委員会も同じチームの意識でサポートしていく。出来上がった企画内容を知ってもらうために、最終日には各社の人事部長、総務部長らの幹部クラスを招待し、発表を聴いてもらう予定という。

あと二つの目標として、役立つ資格の取得サポートや実例セミナーの聴講による「実務の後押し」、人脈ネットワークづくりを促進し相互に刺激を受けることで「知の後押し」——が挙げられている。

大熊三恵氏講演 接客の在り方

「実務の後押し」のためのセミナーでは、ホールの研修・教育・実践指導を行っているデライト・コミュニケーションズ(株)、大熊三恵氏が「接客検定合格サポート&ビジネスシーンに合わせた印象度アップ」のタイトルで2つの演題に

ついて約2時間の講演を行った。大熊氏は、サービス接遇検定資格についてはその合格へのノウハウ、ビジネスシーンでの印象度アップについては、魅力あるスタッフの接客5原則をわかりやすく説いた。

**企画や分担など
自社へ報告書も**

この後グループディスカッションに移り、5グループは割り振られたテーマについて、実現したい企画を絞り、今後の進め方、役割分担などを協議した。さらに、この日のまとめを行い、自社に提出する報告書を書いた。最後に「知の後押し」として人脈形成のための交流会が開かれ、参加者たちができるだけ多くの人たちとのネットワークづくりに励んだ。

人材育成委員会

9月11日
日本橋三洋グループビル
出席委員等9人

「リクナビLIVE」出展へ 「すごい社会人LIVE」の中止で

今年度、就活準備中の学生を対象にしたパチンコ業界のアップロード策として、前回と同様、リクルートの「リクナビLIVE」へのブース出展を検討することになった。

当初、今年度は違う行き方として、同じリクルートの「すごい社会人LIVE」のイベントに参加する方向で準備を進めていたが、同イベントの中止が決まったため、改めて「リクナビLIVE」へ照準を合わせるようになったもの。

日遊協は昨年度の「リクナビLIVE」(さる3月7日)に「業界理解セミナー パチンコ・パチスロ編」のブースを出展したが、ブース入場者は251人で前回(2013年度)の603人を大きく下回った。主催者のリクルートキャリアの調べでは、「リクナビLIVE」全体でも前回のイベントに比べ出展社数は525社と倍増したが、来場者は2万261人で微増にとどまり、全ブースでの平均着席数は179人で半数以下に落ちた。

原因として、就職準備期間が6か月から9か月に延びたことにより3月時点で希望業界・企業を定め終えた学生が増えたこと、説明会開催企業が増加したことなど採用マーケットの変化等が指摘された。今年度も「3月解禁」は変わらない状況の中で、リクルートはイベント内容で改良等を考えていくとしている。